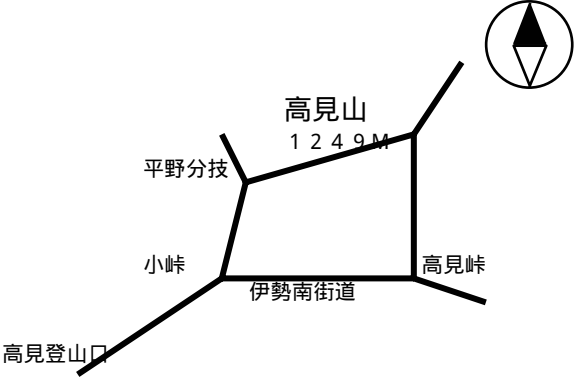


1 月 度 個 人 山 行 報 告 書			報告者	藤田健治	参 加 メンバ－	CL: 塚本英吾 藤田健治
			報告日	0 1 / 14		
山 域	台高山地	山行日	03 年 1 月 10 日 (金)			
山 名	高見山 1249m		03 年 1 月 11 日 (土)			

山行目的	雪山登山	コースタイム (天候 : 天気図記号)	
配布先	ルート図 (地図を見て正確に)	0 1 / 1 0 晴れ	17 : 50
集会:12	 <p>2.5 万分の 1 地図 : 高見山</p>	塚本 自宅発	
山行: 1		2 0 : 3 0	
リダ－		飯高町道の駅	
原紙: 集会担当者		0 1 / 1 1 晴れ	
		道の駅発	
		6 : 3 0	
		東吉野村高見山登山口	
		7 : 3 0 ~ 8 : 1 0	
		小峠	
		9 : 4 0	
	平野分枝		
	10 : 10		
	高見山		
	11 : 3 0 ~ 12 : 1 0		
	高見山登山口		
	13 : 4 0		
	刈谷着		

山行報告 今年初の山行を三重と奈良県堺に位置する台高山地に求めて、ひたすら車を飛ばした。計画では大峠まで車を上げて片道 1 h の登り予定であったが、峠道の雪をきらい奈良県側東吉野村高見山登山口に急遽変更した。国道 1 6 6 号線の脇に駐車して、地元の老人方と挨拶を交わしてから急登に入る。

登山路は参勤交代の紀州候も通った伊勢南街道に沿って小峠にでる。一本立てて急登の雪道となるがアイゼンはつけず一気にピークに着くが、立派な非難小屋と神武天皇ゆかりの社祠に迎えられる。大峠からの登山者も多く賑やかなピークで眺望のきいたなか雪山を楽しみ心が弾む。

アイゼンを着け、登路を降ると気温上昇で枝先の霧氷が音もなく一斉に落下を始め、見事な自然のプレゼントにただ感謝あるのみ。この山は関西から樹氷を求めて春先まで多くの登山者、カメラマンで賑わい、近畿自然歩道とも交差しておりよく整備されている。

降り口の売店で塚本さんが軽アイゼンを購入しつつ情報収集をして、近々に別ルートから再度の訪問を狙うとか。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認 (リダ－)

塚本

03.1.14

作成 (報告者)

藤田

03/1/14

S L 所見 自分は初めての台高山地であったが、はるか潮の岬まで重々と続く山並みをみるとスケールの大きさを感じさせてくれる大山地である。秋までに再訪を果たしたい。